

浜松市生活支援体制づくり協議体（第2層、板屋圏域） 第1回会議 議事録

開催日時	令和3年7月26日（月）14時00分から15時40分まで
参加者	委員18名、関係機関12名
場所	アイミティ浜松 大会議室
内容	<p>1. 開会</p> <p>2. 挨拶 地域包括支援センター板屋圏域協議体会長</p> <p>3. 自己紹介</p> <p>4. 協議事項</p> <p>①昨年度までの振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者福祉課より「はままつ友愛の高齢者プラン」について説明。 ・生活支援コーディネーターより、パワーポイント資料を用いて協議体会議開催の背景について説明し、昨年度までの会議について振り返りを行った。 <p>②今年度の計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パワーポイント資料、「今年度の協議体スケジュール（案）」をもとに今年度の計画について生活支援コーディネーターより説明。 <p>③地域資源マップの作成について</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 様々な地域資源（地域の活動）について浜松地区センターより紹介。 <ul style="list-style-type: none"> ・各地区の人口の推移と地域活動の事例についてパワーポイントを用いて紹介。 ■ 社会資源マップの内容について検討 ※地区ごとに分かれて検討した。 <p>◆アクト地区</p> <p><マップ作成について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地図を作るのならば住民のニーズに合ったものにしたいが、誰が何を必要としているのか地域の高齢者の実情がわからない。 ・地域の店舗や病院など、インターネットで得ることのできる情報をまとめても意味がないのでは？ ・各公民館でどんな活動がされているのかをまとめるという案もあるが、地図に載せるほど沢山の活動があるわけではない。 ・“配達サービス”や“ちょっと寄れる場所”をまとめるのも一案だが、どんな情報を住民が必要としているのかをまずは知りたい。 <p>→地域のニーズを把握するため、まずはニーズ調査を実施することになった。</p>

ニーズ把握について…ふれあい交流センターいたやにて利用者に聞き取り調査を実施。包括板屋と市社協で受けている相談事例や内訳を次回会議で共有する。

<地域の様子について>

- ・公園やクリエイト、総合病院、協働センター等、公共の資源が多くある。医療についてはそんなに困らないのではないか。
- ・六間道路の南側は停電・断水がこわい。
- ・六間道路の北側は曳馬地区・北地区の人達と生活圏域が同じ。野口町にはお店がないため、新津町のフィールに行っている。
- ・昔は個人商店が御用聞きをしてくれた（電球交換のついでに…等）。現在はそれがない。
- ・体が動かなくなったときのお助けサービスとして、移動販売は利用できるかも。
- ・若者は車で移動している。行ける人は駅まで自転車で行っている。
- ・隣同士に住んでいる人が疎遠になっている。
- ・板屋町は1/3がマンション住まい。マンションの中の様子は外から把握できない。中で亡くなっている人がいても気づけない。同じマンションと言っても、平均年齢70歳のマンションと35～40歳のマンションでは事情が違う。

◆江東地区

<マップ作成について>

- ・対象…高齢者。
- ・江東地区の防災マップが完成して1年半ほど経つが、なかなか活用するのが難しい。→防災マップに情報を足していったらどうか。防災マップにはサロン、AED、病院等が掲載済み。
追加する内容（案）…シニアクラブ、デリバリーサービス、消火器の位置。
- ・マップのサイズ…A2サイズが一案。配布するのであれば小さいサイズが良いのでは。
地図に全部入れこまず、一覧表を付けたらよいのではないか。
- ・情報収集の方法…調査票を使えると良いのではないか。
- ・町ごとにマップを作っても良いかもしれない。

◆駅南地区

<マップ作成について>

- ・対象…自治会や民生委員などの世話人となっている人に配布し伝えてもらう。
- ・目的…利便を図るため（自分の近所で使えるサービスなどがわかると便利では？）
- ・内容…今まで収集した情報（病院・薬局）、交通の便、ポスト、公衆電話、コンビニ、ロコトレサロン、自治会公民館の集まり（自治会館の使い方も含む）
↑個人的な集まりがあるのかどうかは聞いたことがない。
- ・サイズ…A2
- ・情報収集の方法…今まで作成したマップの情報（他地区のものも知りたい）、調査票

の活用、民児協にて社協が聞き取る（困りごと・地域のニーズも聞いてくる）、ロコトレサロンについては包括が聞き取り。

<地域の現状について>

- ・空き家になっている場所があり、住民がいるかどうかわからない場所もある。
→治安が心配。連携しにくい。
- ・マンションに住む人は自治会に入らない人が多く、地域とのつながりがない。
- ・バスの便が悪い。
- ・独居高齢者が増えている。
- ・情報を知らない高齢者が多いのではないか（自治会館を開放しても集まらなかった）。
- ・シニアクラブがない町がある。

※人の資源がほしい。→地域内にきっと人材がいる。つながりたい。

◆中央地区

<マップ作成について>

- ・内容…高齢者に耳寄りな情報を入れたい。足の問題を抱える高齢者向けに、デリバリーサービスなどの役立つ情報を入れる。新しくマンションが建つこと等によって地区内の様子が大きく変わる地区なので、数年単位で動かない情報を入れたい。
- ・情報収集の方法…民児協にてデリバリーサービスの情報を収集してはどうか。

<地域の現状について>

- ・地域の公共施設が少ないのでは？
- ・病院についてはかかりつけ医が決まっている。
- ・ネット注文を覚えられると良いのでは？
- ・商店が多く買い物の場が多いため、地区外にはなかなか出ない。

◎以下は地区住民のお買い物情報

- ・ZAZA シティや遠鉄百貨店地下、駅地下に買物に行く人が多い。
- ・常磐町のマックスバリュー、成城石井にいく人もいる。
- ・伝馬町 ZAZA…2,000円以上買うと配達してくれるサービスある。
- ・Mayone…持ち帰りサービスある ※駐車場がないところは特にサービスが充実。
- ・有楽街 マツモトキヨシ…土日休み
- ・高町の出雲殿跡 杏林堂薬局…配達してくれる

④訪問した地区の様子について紹介

※伝馬町訪問の報告については、時間の都合で次回会議の際に紹介することになった。

	<p>5. 次回以降の会議日程について</p> <p>【第2回】日時：10月28日（木）10：00～11：30、会場：アイミティ浜松 大会議室 ↑変更の可能性あり。</p> <p>【第3回】日時：1月27日（木）10：00～11：30、会場：アイミティ浜松 大会議室</p> <p>6. 連絡事項 特になし</p> <p>7. 閉会 地域包括支援センター板屋圏域協議体副会長</p>
<p>今後の見通し等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の状況は各町で異なるため、各地区の状況に応じて対応を検討し、スケジュールを見直したい。 ・「地域のニーズを把握できていないため、地域でどんな情報が必要とされているのかわからない」という意見もあったため、地域ニーズの把握を積極的に進めていきたい。